

1-4-18. 奄美群島3島（奄美大島・喜界島・沖永良部島）における魚類相調査

本村浩之・是枝怜旺・古橋龍星

Ichthyofaunal surveys in the Amami Islands (Amami-oshima, Kikai-jima, and Okinoerabu-jima islands)

MOTOMURA Hiroyuki, KOREEDA Reo, and FURUHASHI Ryusei

鹿児島大学総合研究博物館

The Kagoshima University Museum

要旨

2021年度に実施した奄美群島の3島（喜界島、沖永良部島、奄美大島）の魚類相調査を報告する。計4回のフィールド調査によって3島から1,600個体以上の魚類が採集された。現在も同定作業を進めているが、ここではすでに明らかになった知見を中心に紹介する。

はじめに

2021年度の奄美群島の魚類相調査として、7月と10月に喜界島、8月に沖永良部島、11月に奄美大島における調査を実施した。これら3島の魚類相はこれまでも包括的な調査が行われており、各島からの過去の報告を含め、Nakae et al. (2018)は奄美大島から1,615種、Fujiwara and Motomura (2020)は喜界島から530種、Motomura and Uehara (2020)は沖永良部島から637種を記録した。しかし、奄美群島の魚類多様性は極めて高く（本村、2021）、その後も調査が実施される度に追加種が報告され続けている。沖永良部島からはMotomura and Uehara (2020)以降、追加の初記録50種を報告した藤原ほか（2020）を始め、シューヤジリチンヨウジウオが同島から日本初記録として報告された（Araki et al., 2020）。奄美大島からはNakae et al. (2018)以降も毎年多くの種が新たに報告されている（例えば赤池ほか、2021b）。本報告では、2021年度に実施された奄美群島における魚類相調査の成果概要を記す。

方法

2021年7月17–22日に喜界島（3名による調査）、8月19–25日に沖永良部島（14名）、10月18–23日に喜界島（3名）、11月15–20日に奄美大島（2名）の魚類相調査を行った。7月の喜界島ではダイビング、10月の喜界島では釣り、奄美大島では河口域や沿岸浅場で手網と釣り、沖永良部島ではダイビング、釣り、および手網を用いた総合的な調査を実施した。得られた個体は宿泊・研究施設に持ち帰り、標本登録、種同定、DNA解析用筋肉切片の採取、展鱗、撮影、固定等の一連の標本作製作業をおこなった。標本は鹿児島大学総合研究博物館（KAUM）に所蔵した。また、奄美群島3島においては上記調査の他に継続的に様々な機会に現地から鮮魚を得ている。本報告では2021年度にこれらの追加で得られた種も含めた。

結果

喜界島調査によって186種475個体が採集され、そのうちヒラスズキは琉球列島における標本に基づく初めての記録として報告された(中村ほか、2021a)。沖永良部島調査では708個体が採集され、赤池ほか(2021a)によって標本に基づく同島初記録の魚類66種が報告された。同時に外来種サザンプラティフィッシュの島内における新たな定着河川も報告された。さらに同島をタイプ産地として新種 *Lepadichthys geminus* (タスジウミシダウバウオ) が記載された(Fujiwara and Motomura, 2021)。奄美大島調査では420個体が採集され、多くの同島初記録種(日本初記録1種、薩南諸島初記録5種などを含む)が報告された(例えば出羽ほか、2021; 古橋ほか、2021; 飯野ほか、2021; 中村ほか、2021b; Hoshino and Motomura, 2021; 橋本ほか、2021)。また、これまで奄美大島ではあまり調査が行われていなかった潜砂性魚類を重点的に調査した結果、未記載種を含む多くの新知見が確認されたため、現在記載・報告の準備中である。これらの潜砂性魚類は道路拡張工事等による環境変化の影響を受けやすいため、今後も個体群が健全に維持されるか懸念される。

以上のように、2021年度の奄美群島の魚類調査によって、多くの新知見を得ることができた。今後も季節ごとのきめ細やかな調査を行い、奄美大島の魚類の多様性を解明したい。

引用文献

- 赤池貴大・藤原恭司・上原航知・松岡 翠・藤井琢磨・ジョン ビョル・松本達也・中川龍一・緒方僚輝・是枝伶旺・古橋龍星・望月健太郎・飯野友香・出羽優風・石原祥太郎・本村浩之(2021a) 標本に基づく琉球列島初記録を含む沖永良部島初記録の魚類66種、およびサザンプラティフィッシュの島内における新産地とカワアナゴ属の一種の形態学的特徴. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* 13: 18–35.
- 赤池貴大・前川隆則・本村浩之(2021b) 標本に基づく魚類6種の奄美大島からの初めての記録. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* 6: 41–47.
- Araki M, Uehara K, Senou H, Motomura H (2020) First records of the Pughead-pipefish *Bulbonaricus davaoensis* (Teleostei: Syngnathidae) from Japan. *Species Diversity* 25: 163–169.
- 出羽優風・前川隆則・本村浩之(2021) 奄美大島から得られた国内2個体目のベラ科魚類ヒイロモチノウオ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* 8: 5–7.
- Fujiwara K, Motomura H (2020) An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Kikai Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 259 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum* 14: 1–73.
- Fujiwara K, Motomura H (2021) Review of the *Lepadichthys lineatus* complex (Gobiesocidae: Diademichthyinae) with descriptions of three new species. *Journal of Fish Biology* 2021: 1–20.
- 藤原恭司・上原航知・松岡 翠・Wibowo K・本村浩之(2020) 琉球列島と奄美群島初記録種を含む沖永良部島初記録の魚類50種. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* 3: 30–40.
- 古橋龍星・前川隆則・本村浩之(2021) 奄美大島から得られた鹿児島県初記録ならびに北限記録のマジリアイゴ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* 8: 8–10.
- 橋本慎太郎・前川隆則・本村浩之(2021) 奄美大島から得られた奄美群島初記録のイッテンサクラダイ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan* 13: 9–12.

- Hoshino K, Motomura H (2021) Redescriptions of the Indo-Pacific scorpionfishes *Scorpaenodes kelloggi* (Jenkins 1903) and *Scorpaenodes hirsutus* (Smith 1957) (Scorpaenidae). Ichthyological Research doi: 10.1007/s10228-021-00818-1.
- 飯野友香・前川隆則・本村浩之 (2021) 奄美大島からの初記録を含むトンガリサカタザメ (シノノメサカタザメ科) の国内における分布状況, および本種の標徴に関する再評価. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan 9: 6–10.
- 本村浩之 (2021) 未知の魚の宝庫, pp. 67–70. 山本宗立・高宮広土 (編) 魅惑の島々、奄美群島—自然編—. 鹿児島大学島嶼研ブックレット No. 18.
- Motomura H, Uehara K (2020) An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Okinoerabu Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 361 new records. Bulletin of the Kagoshima University Museum 12: 1–125.
- Nakae M, Motomura H, Hagiwara K, Senou H, Koeda K, Yoshida T, Tashiro S, Jeong B, Hata H, Fukui Y, Fujiwara K, Yamakawa T, Aizawa M, Shinohara G, Matsuura K (2018) An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo 52: 205–361.
- 中村潤平・大富 潤・本村浩之 (2021a) 奄美群島喜界島から得られた標本に基づく琉球列島初記録のヒラスズキ. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan 14: 13–16.
- 中村潤平・山田守彦・本村浩之 (2021b) 奄美大島から得られた薩南諸島初記録および太平洋における北限記録のトガリメザメ (メジロザメ科). Ichthy, Natural History of Fishes of Japan 11: 17–20.